

# 千葉大学医学部附属病院 歯科・顎・口腔外科で薬剤関連顎骨壊死の治療を受けた患者の皆様、ご家族の皆様へ

2026年1月20日

歯科・顎・口腔外科

歯科・顎・口腔外科では、「薬剤関連顎骨壊死症例の臨床的検討」に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

## 本文書の対象となる方

2014年1月1日～2024年12月31日の間に千葉大学医学部附属病院

歯科・顎・口腔外科で薬剤関連顎骨壊死の治療を受けた方

## 1. 研究課題名

「薬剤関連顎骨壊死症例の臨床的検討」

## 2. 研究期間

2026年承認日～2026年12月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

## 3. 研究の目的・方法

こつそしょうしょう骨粗鬆症や悪性腫瘍の骨転移などの治療に使用されるビスホスホネート製剤やデノスマブ製剤などの骨吸収抑制薬は、顎の骨の壊死を引き起こす場合があることが知られており、その報告例は増加しています。近年では血管新生阻害薬などによる顎骨壊死を含めて薬剤関連顎骨壊死と呼ばれています。薬剤関連顎骨壊死は難治性の疾患とされてきましたが、近年では外科的治療が有効であるという報告も多く、治癒可能な疾患へと扱いが変わってきています。

当科でも薬剤関連顎骨壊死に対する外科的治療例が増加していますが、治療の実態や治療効果などについては十分に検証されていません。本研究では過去10年間に当科で治療を行った薬剤関連顎骨壊死の診療情報を元に疾患の実態や治療方法、治療効果などについて検証します。

#### 4. 研究に用いる情報の種類

本研究では、過去の通常の診療において記録された、診療録に記載されている情報を収集します。これには、年齢、性別、顎骨壊死の発症部位、顎骨壊死の原因薬剤、薬剤使用の原因となった疾患、顎骨壊死の治療内容、CT や MRI などの画像データなどの情報が含まれます。

#### 5. 研究組織（情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：歯科・顎・口腔外科 講師 中嶋 大

#### 6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院歯科・顎・口腔外科において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、研究結果について当該機関の研究者等の判断の下、原則、研究対象者に開示します。また、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧することができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

千葉大学 URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>

#### 7. 研究に関する相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

歯科・顎・口腔外科 講師 中嶋 大

043(222)7171 内線 6831